

ミズトンボ

Habenaria sagittifera Reichb. fil.

ラン科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

かつては県内各地の湿地に生育した稀産の植物であるが、近年、湿地とともに多くは失われ、きわめて稀な植物となっている。(現況:R-)

形態

花は淡緑色で、唇弁の側裂片は線形で、直角に分枝するため、十字形となる。茎は広卵形の球茎より出て三角形、高さ40~70cm程度となる。葉は線形で長さ5~20cm、茎の下部に数枚着く。花はほぼ8~10mm、穂状に多数着き、苞は線状披針形長さ8~15mm、距は15mmに達し、下垂して先端は球状に膨れる。

国内分布

北海道、本州西南部、四国、九州、さらに中国(中部)に分布。

県内分布

奥能登、口能登・加賀中央部、南加賀区など県下に広く分布。

生態など

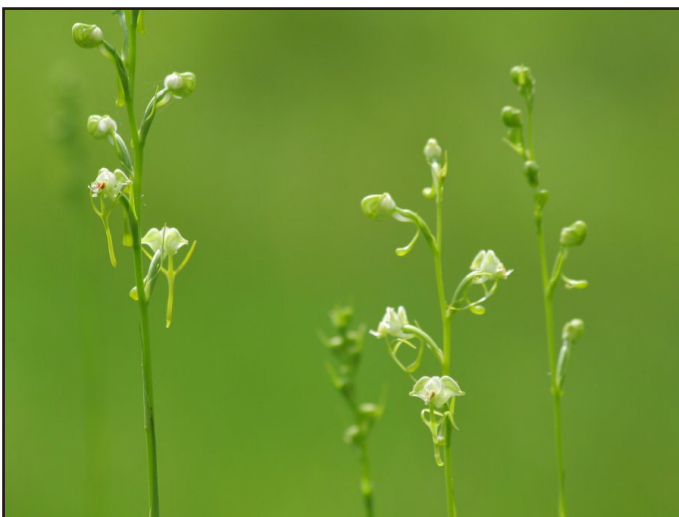
地生の多年生草本。開花期は7~9月。

生育環境

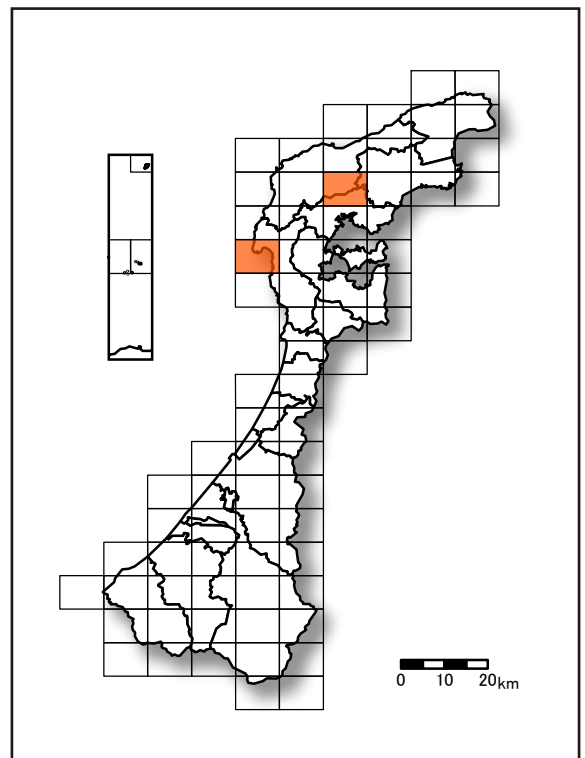
日当たりのよい湿地。

危険要因

池沼開発、土地造成、園芸採取、自然遷移。



白井伸和・2007年8月21日・能登町



県内の分布